

5 家庭科、技術・家庭科で目指す子どもの姿と小・中・高の系統的な指導内容（小学校低・中学年は他教科や他領域との関わり）

	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年(家庭科)	中学校(技術・家庭科)	高等学校(家庭総合)
目指す子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族や家庭生活に関心を持つ。</li> <li>着替えや整理整頓など自分のことは自分でしようとする気持ちをもつ。</li> <li>身近な家庭の仕事に興味を持って関わる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族や家庭生活に興味・関心を持つ。</li> <li>進んで家庭の仕事に取り組みようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭生活への関心を高め、その大切さに気付いている。</li> <li>日常生活に必要な知識と技能を身に付け、生活の中で活用している。</li> <li>生活を工夫しようとする実践的態度が身に付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の自立に必要な衣食住などに関する基礎的な知識と技術を身に付けている。</li> <li>子育てや心の安らぎなどの家庭の機能を理解するとともに、これからの生活を展望し、課題を持って生活をよりよくしていこうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度が身に付いている。</li> </ul>
<b>A 家庭生活と家族(小)</b>  <b>A 家族・家庭と子どもの成長(中)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な家庭の仕事や、その仕事をしている家族に興味・関心を持つ。</li> <li>ごっこ遊びなどを通して、家庭の仕事をする楽しさを味わう。</li> <li>地域の行事などに参加することを通して、地域の人々と触れ合い、地域の中で活動する楽しさを味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭の仕事に興味を持ち、その仕事をする家族に感謝の気持ちを持つ。</li> <li>自分にできる家庭の仕事に進んで取り組む。</li> <li>地域の行事などに参加することを通して、地域の人々と触れ合い、地域と家庭生活との関わりを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)自分の成長と家族 <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の成長を自覚する。</li> <li>家庭生活と家族の大切さに気付く。</li> </ul> </li> <li>(2)家庭生活と仕事 <ul style="list-style-type: none"> <li>生活を支える仕事に分かる。</li> <li>自分の分担する仕事ができる。</li> <li>生活時間の有効な使い方を工夫し、家族に協力する。</li> </ul> </li> <li>(3)家族や近隣の人々との関わり <ul style="list-style-type: none"> <li>家族との触れ合いや団らんを楽しむ工夫をする。</li> <li>近隣の人々との関わりを考え、自分の家庭生活を工夫する。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)自分の成長と家族 <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて考える。</li> </ul> </li> <li>(2)家庭と家族関係 <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭や家族の基本的な機能と家庭生活と地域との関わりについて理解する。</li> <li>家族関係をよりよくする方法を考える。</li> </ul> </li> <li>(3)幼児の生活と家族 <ul style="list-style-type: none"> <li>幼児の発達と生活の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解する。</li> <li>幼児と触れ合うなどの活動を通して、幼児への関心を深め、関わり方を工夫する。</li> <li>家族関係又は幼児の生活について工夫し、計画を立てて実践する。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)人の一生と家族・家庭 <ul style="list-style-type: none"> <li>ライフステージ、家庭の機能と家族関係、青年期の自立、生活設計</li> </ul> </li> <li>(2)子どもの発達と保育・福祉 <ul style="list-style-type: none"> <li>母体の健康管理と誕生、子どもの発達、親の役割</li> </ul> </li> <li>(3)高齢者の生活と福祉 <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の心身の特徴と生活、高齢者の福祉、介護の基礎</li> </ul> </li> </ul>
<b>B 日常の食事と調理の基礎(小)</b>  <b>B 食生活と自立(中)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食べ物の働きを知る。</li> <li>食べ物の中には「栄養素」が入っていることを知る。</li> <li>好き嫌いや食べ物を食べる理由が分かる。</li> <li>給食の準備や後片付けが進んでできる。</li> <li>食生活に関わる仕事に関心を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食べ物と自分たちの健康との関わりを知る。</li> <li>赤・黄・緑の食べ物をバランスよく食べる理由が分かる。</li> <li>給食の準備や後片付けがきちんとできる。</li> <li>食生活に関する仕事に進んで関わる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)食事の役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>食事の役割を知り、日常の食事の大切さに気付く。</li> <li>楽しく食事をするための工夫をする。</li> </ul> </li> <li>(2)栄養を考えた食事 <ul style="list-style-type: none"> <li>体に必要な栄養素の種類と働きについて知る。</li> <li>食品の栄養的特徴を知り、食品を組み合わせてとる必要が分かる。</li> <li>1食分の献立を考える。</li> </ul> </li> <li>(3)調理の基礎 <ul style="list-style-type: none"> <li>材料の分量や手順を考えて、調理計画を立てる。</li> <li>材料の洗い方、切り方、味の付け方、盛り付け、配膳及び後片付けが適切にできる。</li> <li>米飯及びみそ汁の調理ができる。</li> <li>用具、食器の安全で衛生的な取扱い及びこんろの安全な取扱いができる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)中学生の食生活と栄養 <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の食生活に関心を持ち、生活の中で食事が果たす役割を理解し、健康に良い食習慣について考える。</li> <li>栄養素の種類と働きを知り、中学生に必要な栄養の特徴について考える。</li> </ul> </li> <li>(2)日常食の献立と食品の選び方 <ul style="list-style-type: none"> <li>食品の栄養的特質や中学生の1日に必要な食品の種類と概量について知る。</li> <li>中学生の1日分の献立を考える。</li> <li>食品の品質を見分け、用途に応じて選択できる。</li> </ul> </li> <li>(3)日常食の調理と地域の食文化 <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的な日常食の調理ができる。</li> <li>安全と衛生に留意し、食品や調理用具等の適切な管理ができる。</li> <li>地域の食材を生かすなどの調理を通して、地域の食文化について理解する。</li> <li>食生活に関心を持ち、課題を持って日常食又は地域の食材を生かした調理などの活動について工夫し、計画を立てて実践する。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)栄養、食品、調理などの科学的理解</li> <li>(2)食生活の文化</li> <li>(3)日常食の献立作成、調理</li> <li>(4)健康や安全に配慮した食生活の管理</li> </ul>
<b>C 快適な衣服と住まい(小)</b>  <b>C 衣生活・住生活と自立(中)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で自分の衣服を脱いだり着たりできる。</li> <li>自分の衣服を大切にする。</li> <li>衣生活に関わる仕事に関心を持つ。</li> <li>住まい方に関心を持つ。</li> <li>自分の身の回りの整理整頓ができる。</li> <li>住生活に関わる仕事に関心を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>衣服の着用に関心を持ち、自分の衣服を着たり、手入れができたりする。</li> <li>自分の衣服を大切にする。</li> <li>衣生活の仕事に進んで関わる。</li> <li>住まいの働きや、住まい方に関心を持つ。</li> <li>身の回りの整理整頓と心に掛け、安全で快適な住まい方を心掛ける。</li> <li>住生活に関する仕事(清掃)に進んで関わる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)衣服の着用と手入れ <ul style="list-style-type: none"> <li>衣服の働きが分かる。</li> <li>日常着の快適な着方を工夫できる。</li> <li>日常着の手入れの必要が分かり、ボタン付けや洗濯ができる。</li> </ul> </li> <li>(2)快適な住まい方 <ul style="list-style-type: none"> <li>整理・整頓や清掃の仕方が分かり工夫できる。</li> <li>季節の変化に合わせた生活の大切さが分かり、快適な住まい方を工夫する。</li> </ul> </li> <li>(3)生活に役立つ物の製作 <ul style="list-style-type: none"> <li>布を用いて製作する物を考え、形などを工夫して製作計画を立てる。</li> <li>手縫いや、ミシンを用いた直線縫いにより目的に応じた縫い方を考えて製作する。</li> <li>製作に必要な用具の安全な取扱いができる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)衣服の選択と手入れ <ul style="list-style-type: none"> <li>衣服と社会生活との関わりを理解し、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫できる。</li> <li>衣服の計画的な活用を必要を理解し、適切な選択ができる。</li> <li>衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れができる。</li> </ul> </li> <li>(2)住居の機能と住まい方 <ul style="list-style-type: none"> <li>家族の住空間について考え、住居の基本的な機能について知る。</li> <li>家族の安全を考えた室内環境の整え方を知り、快適な住まい方を工夫できる。</li> </ul> </li> <li>(3)衣生活、住生活などの生活の工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>布を用いた物の製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができる。</li> <li>衣服又は住まいに関心を持ち、課題を持って衣生活又は住生活について工夫し、計画を立てて実践できる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)被服材料の性能・取扱い上の特徴</li> <li>(2)被服の構成と被服製作</li> <li>(3)被服整理と衣生活の管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>洗濯、仕上げ、保管、表示、健康・安全に配慮した被服の調達と活用、資源の有効利用</li> </ul> </li> <li>(1)住居の機能</li> <li>(2)住空間の計画</li> <li>(3)住環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>室内環境、家庭内事故防止、防災、地域社会との関連等</li> </ul> </li> <li>(4)住生活の文化</li> </ul>
<b>D 身近な消費生活と環境(小・中)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金銭の使い方に関心を持つ。</li> <li>身の回りの物や、金銭を大切に使う。</li> <li>身近な自然や生活の環境に関心を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金銭の適切な使い方に関心を持つ。</li> <li>身の回りの物や、金銭を大切に使うことができる。</li> <li>身近な自然や生活環境に関心を持つ、よりよくする方法を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)物や金銭の使い方と買物 <ul style="list-style-type: none"> <li>物や金銭の大切さに気付く、計画的な使い方を考える。</li> <li>身近な物の選び方、買い方を考え、適切に購入できる。</li> </ul> </li> <li>(2)環境に配慮した生活 <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の生活と身近な環境との関わりが分かる、物の使い方などを工夫できる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)家庭生活と消費 <ul style="list-style-type: none"> <li>自分や家族の消費生活に関心を持ち、消費者の基本的な権利と責任について理解する。</li> <li>販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができる。</li> </ul> </li> <li>(2)家庭生活と環境 <ul style="list-style-type: none"> <li>自分や家族の消費生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活について工夫し、実践できる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)消費行動と意志決定</li> <li>(2)家庭の経済生活 <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭経済の仕組み、家計管理と経済計画</li> </ul> </li> <li>(3)消費者の権利と責任 <ul style="list-style-type: none"> <li>消費生活の現状・課題、消費者問題と消費者の保護、消費者の責任等</li> </ul> </li> <li>(4)消費行動と資源・環境</li> </ul>